



町長日誌

No.222

町長日誌の第 222 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月11日 (月曜日) AM9:00

4月に入り穏やかな天候が続いています。でも、あっという間に雪が解けましたね。西風の力は凄いなあと感じました。ただ、農業的には雨が降って解けた方が地温の上昇が早くなり草の芽吹きも活発になるのですが、風で雪が解けると乾燥しやすく干ばつ気味になると言われています。

さて新年度となり7日が小中学校入学式の予定でしたが今日(11日)に延期されました。コロナ感染者の拡大が原因でしたが、早急に幼稚園・保育所および学童保育と7日から始まる小中学校を今日まで閉鎖したことが幸いしたのか、感染者はほぼ興部保育所関係で納まり、5日間ほどで園児の感染が見られなくなり、今は家族への感染も収まりつつあります。発生から今日までの状況を振り返ってみます。

- 4月1日(金曜日) 幼稚園のはこぶねハウス(放課後児童の預かり)に通う子供が感染したと連絡。
- 2日(土曜日) 興部保育所で複数陽性者が出たとの報告。検査を受ける人が急増。
- 3日(日曜日) 朝9時から対策会議を開く。更に陽性者が増え保育士にも感染者が出る。夕方5時に保育所・学校などの対応協議。
- 4日(月曜日) 朝8時から「対策本部会議」を開き保育所・幼稚園・小中学校を10日まで閉鎖することを決定。この時点で沙留地域では未発生だが感染拡大を防ぐために対象とする。
- 5日(火曜日) 徐々に子供からその家族に感染が広がる。保育所以外のルートでの感染者が現れる。西紋全体でも感染者が増加。
- 6日(水曜日) 子供の新規感染は減り家族の感染が主となる。
- 7日(木曜日) 感染者は大きく減少したことから、沙留保育所および小中学校は11日より再開する。興部保育所、幼稚園および学童保育は18日からの再開を決定。
- 8日(金曜日) 園児の感染なし。
- 9日(土曜日)

この様な経過により、本町で初めてコロナ感染者が70名を超え、しかも猛スピードの感染拡大となりました。大半が園児ですからワクチン接種の対象外でした。しかし、幸いなことに感染者は熱発や咳の症状で治まる人が多く2~3日で元気になり重症化は見られませんでした。保育所以外の感染ルートも広がりませんでした。高齢者ワクチンの3回目が2月中に終わっていたこと、学校が春休み中であつたことなど良い条件が重なつたことが幸いでした。しかし、お仕事を休まなければならない皆さんには大変なご負担をお掛けしましたが関係の皆様のご協力のお陰で短期的に終息できたものと感謝申し上げます。また、国保病院でのコロナの検査についてですが、現在PCR検査ではなく「抗原検査」で対応しています。これは小型のPCR検査機器では半日に2名程度の能力しかないので、大勢の感染者の検査には広域病院のような高額な検査機器が必要となります。しかし、保健所は医療用抗原検査も判定の対象としていることから、病院では新たに精度が高く約10分で判定可能な抗原検査機器を導入しましたので、発熱などの症状があれば国保病院までご連絡ください。なお、「役場」「きらり」「教育委員会」「沙留出張所」には簡易検査キットが置いてあります。無料ですからご利用ください。オホーツク管内全体で、子供を中心に感染が広がっています。部活動や少年団などでの感染も多いようです。あまり恐れることはありませんが十分な注意は必要です。3年目の戦いになってしまいましたが皆で乗り切りましょう。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

